

なお、簡単に結構なんですが、市長に一つだけお尋ねしたいんですが、先ほど人の和、人を育てるということがありましたけれども、今回財政課の資料、あるいは財政課と話をしまして、その専門性というのを痛感いたしました。これまで市長は職員にはもっと幅広い知見を身につけさせたいということもおっしゃっていただきましたので、そうしたことと、この専門性をいかに身につけてもらうか、その辺りを市長としてどのように考えておられるか、簡単に結構ですので、お願いいたします。

○鈴木富美子議長 内容重治市長。

○内容重治市長 大変ありがたいご提言いただきました。ありがとうございます。やはり、特に財政とか、あるいは収入、歳入の、特に市民の皆様、市内の法人、事業者さんから頂く市民税、こちらについては税務課ですね、こういったところの専門性というのは非常に重要だと。なおかつ、福祉であったり、教育であったり、あらゆるものやっぱり専門性必要です。ですから、これからの人事についても、その辺の配慮をしながら適正に行っていきたいと思いますが、少なくとも一つの課っていいですかね、人事で異動してもらったときは、やはり最低でも3年勤めていただくということで、ある程度、3年ですと基本的なことが分かりますので、それからほかのところいろいろ経験した上で、その中で最終的に管理職とか、あるいは補佐職とか、そういったところになるとときには自分の一番やりたい、そういった所管課のほうのご希望などをいただきながら、人事の適正な配慮が必要なんだろうと思いますし、なおかつ、それをやっぱり、特に財政については市役所全体、そして市民の皆様にもご理解いただけるような、そういった資料などを、ぜひ議会の皆様と議論しながら、そういったことを詰めていかなきゃいけないと思っておりますので、ぜひ今後ともよろしくお願いいたします。

○鈴木富美子議長 3番、勝見英一朗議員。

○3番 勝見英一朗議員 仕事の面白さとか、それから、自分のやる気とか、そういうことは自分が伸びる、成長できたことを実感できたときにそうした意識が強くなるのかなと思っているものですから、ぜひ市長にはそうした職員の育成に力を尽くしていただければと思います。

本日は財政に関して、なかなか詰め切れない質問ではありましたが、丁寧な答弁をいただいたと思っております。ありがとうございました。以上で質問を終わります。

○鈴木富美子議長 ここで暫時休憩いたします。再開は午後1時といたします。

午前 11時54分 休憩

午後 1時00分 再開

○鈴木富美子議長 休憩前に復し、会議を再開いたします。

市政一般に関する質問を続行いたします。

なお、渡部秀樹議員から資料の配付について申出があり、会議規則第150条の規定により許可いたしましたので、ご報告いたします。

内容重治議員の質問

○鈴木富美子議長 順位3番、議席番号9番、内容重治議員。

(9番内容重治議員登壇)

○9番 内容重治議員 政新長井の内容重治です。2つの項目について質問いたします。明確な回答をよろしくお願いいたします。

最初に、長井南産業団地について、市長に伺います。

長井南産業団地については、開発区画18.5ヘクタールとし、令和6年度に農地転用許可申請、開発行為許可申請、用地取得、造成工事の予定となっており、令和7年度に造成工事、令和8年度に第一工区に分譲を開始し、令和9年度に第二工区に分譲開始としており、調整池、緑地については調整中としておりましたが、先日の産業・建設常任委員会協議会の中で、新産業団地整備課より調整池について1.5ヘクタール、緑地は0.63ヘクタールとし、調整池の容量が1万2,824トン、50年に一度の豪雨に対応との説明を受けましたが、近隣の地区民の意見を聞いてみると一番心配されていることは、近年頻発している豪雨に対する対応となっており、調整池についてはどの程度の初期雨量に対応できると計算されているのかを伺います。

次に、調整池で全ての雨水の対応ができることが大前提ではありますが、しかし、水の流れは低いところ低いところへ流れていき、それを全て予測することは不可能に近いと考えますので、予備の対応として一部の道路や各誘致企業の駐車場について透水性舗装にすることはできないのでしょうか。

透水性舗装は、雨水を表層から基層、路盤を通して路床に浸透させる構造の舗装で、通常の舗装が雨水の浸透による路床、路盤などの耐久性の低下を防ぐために、路床内部への水が浸透しない構造となっているのに対し、舗装内に雨水が浸透し、路盤層以下まで雨水を浸透させる構造とした舗装です。そのため、透水性舗装では、地下の涵養のほか、水たまりの防止などに効果的です。排水設備への流出量を軽減し、雨水流出抑制効果が期待でき、透水性アスファルト舗装は路盤層以下まで雨水を浸透させる構造となっているため、地下水枯渇化防止の効果があります。排水性舗装に比べると強度は低いものの、その分安価に施工できるメリットもあります。デメリットとして、透水性アスファルト

舗装は、勾配がある場所に採用しにくい点が上げられます。仮に勾配のある場所に施工すると、アスファルト下に浸透する雨水が土壌を洗い流すことで強度不足となる可能性があります。デメリットを考え、透水性舗装ができる場所をある程度限定する必要はあると思いますが、豪雨対策としては十分と考えますので、いかがでしょうか。

次に、企業を誘致することで市民の方々が期待しているのが、若い人たちの就業場所が新たにできることとなり、施政方針でも、若者の就業機会を増やすことで、経済と地域の活性化を図ってまいりますとしています。企業誘致に関して、その部分はどうのような対応を考えているのかを伺います。

また、企業誘致が進めば、近隣の開発も同時に進むものと考えますが、行政としてはどのように考えているのか伺います。民間がそれぞれの思惑で開発を進めるとなると、調和の取れた町並みなどは不可能となります。住宅地は住宅地としてまとめ、商業施設は商業施設としてまとめるような町並みを計画していくことも必要だと思いますが、どのように考えるのかを伺います。

町並みの計画には防災対策や上水道、下水道配管の適切な計画、道路の計画など、事前に行えることを示していく必要があると考えますが、どのように考えるのか、無計画に住宅が建ち、商業施設ができることにより、上下水道配管工事の無駄、冬期間の除雪作業の無駄など、様々な無駄が生じる可能性もあると思いますので、どのように考えるのかを伺います。

今年度の市民と市議会との意見交換会の中で、市民の方々から質問があったのですが、現在、長井南産業団地への誘致企業はどのようになっているのかとの質問でした。答えられる範囲で、現在、引き合いがある企業の数及び業種など、公開できる範囲で伺います。

次に、観光振興事業について伺います。

本市の観光事業として、長井市観光協会委託事業となっている、白つつじまつり、ながい黒獅子まつり、あやめまつり、食の祭典、長井おどり大パレード、ながい水まつり・最上川花火大会、ながい雪灯り回廊まつりの7つの祭りがあります。それぞれ、市民の方々から近隣の方々までに情報が浸透し、集客されていますが、現在の気候変動を考えた場合、日程を固定することによる危険性が大きいのではと考えます。来られた観光客に最大限満足感を持ってもらうために、日程に融通性を求めるべきではないかと考えますが、産業参事の考えを伺います。

本市の観光事業は、期間が限定された祭りが主となっていると考えます。しかし、観光誘客が多いところでは、通年で訪れ、楽しめる観光資源があるところだと考えられます。本市で今後、通年で楽しめる観光資源が必要と考えますが、どのように考えるのかを伺います。

個人的に通年で誘客できる観光資源として本市で考えられるのは、町なか散策ではないかと思われませんが、長井市町なか散策で検索すると、最初にヒットするのが本市のホームページでのおさんぼコース、まち歩きマップのページが表示され、確認すると、おさんぼコース、白つつじコース、あやめコース、小桜コースなどが風景の写真つきで紹介しておりますが、更新日が2018年となっており、長井駅の写真は旧長井駅でした。早急に最新版に更新すべきと考えますが、いかがでしょうか。

また、問合せ先が建設課となっておりますが、なぜなのかを伺います。

また、コースとして紹介されておりますが、単にルートが表示されているだけになっていません。ここに休息場所や近隣の商店の紹介なども織り込み、観光客に長井市を満喫できる仕掛けが必要になるのではと考えますが、いかがでしょうか。

また、既に発行されている長井街歩きMAPの印刷物と整合性を取る必要があると思いますが、いかがでしょうか。

道の駅などで配布されている印刷物がネットで検索した際の情報と整合性が取れているのかどうかの確認は、どこがやっているのでしょうか。印刷物よりも最初にネットなどで検索し、情報収集することが多いと思われる現在、ネット内での情報を充実させる必要があると思いますが、産業参事の考えを伺います。

本市に来られる方々に正確な情報を提供する必要性を強く感じますが、検索された方が本市の情報を持っていないと考えて、より長井市に魅力を感じるページの作成を行わないと伝わらないと思いますが、どのように考えるのか伺います。

また、観光客が求めている情報と本市が出している情報とのずれはないのでしょうか。やまがたアルカディア観光局のツアー一覧を見ると、既に受付終了のページがありますが、トップページで受付終了の記事を載せる必要があるのでしょうか。常に更新し、最新の情報とすべきと考えますが、産業参事の考えを伺います。受付終了のツアーを載せるのであれば、最終ページに載せるべきと考えますが、いかがでしょうか。

本市に来られた観光客にアンケート調査は行われていると思いますが、要望や苦情などは寄せられていないのかどうか、また、寄せられた要望、苦情はどのように対応されているのかを伺います。

情報は、一つのウェブサイトから長井市の様々な情報が得られるようにすべきと考えますが、どこのウェブページが長井市の最新観光情報が得られると本市で考えているのか、また、そのような要望や情報の提供などは行っているのかを伺います。また、検索ページのトップに出るような対策を打つべきと考えますが、いかがでしょうか。

最後に、観光で重要なのは人と人とのつながりを体感できることだと考えます。そこで活躍されるのがながい黒獅子の里案内人の方々に、現在はボランティアガイド団体となっていますが、近年、担い手不足になっていると聞いております。ボランティアとして活動することには限界があり、ガイドの方々の善意を前提とした事業の継続は難しいと考えます。ガイドの内容によって、金額を見直し、ボランティアではなく、ある程度職業として金額設定すべきなのではと考えますが、産業参事の考えを伺います。

以上で壇上からの質問を終了いたします。ご清聴ありがとうございました。

○鈴木富美子議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 内谷邦彦議員からは、大きく2項目にわたってご質問、ご提言をいただきました。私のほうからは、1点目の長井南産業団地について、お答えを申し上げます。

議員のほうからは、長井南産業団地の様々な対応、対策について伺うということで、5点ほどいただきました。

まず、最初の調整池でどの程度の初期雨量に対応できると考えているのかというようなご質問でございます。

議員のほうからも内容につきましては詳しく説明いただきましたけれども、産業団地整備における調整池の設計では、50年に一度の確率で想定される雨量、1時間50.3ミリに対応する規模、貯水容量が1万2,844立方メートルとしておりまして、これは日本河川協会を示している防災調整池等の技術基準を満たすものであります。1時間当たり50ミリの雨が降り続ければ、2時間ほどで満水になる計算ではございますけれども、雨量強度曲線など、雨の降り方を考慮した基準で算出した容量でございます。調整池が1.5ヘクタール、あと緑地ということで約2ヘクタールですね、全体が20ヘクタールですから、ちょっとアバウトで恐縮なんですけど、産業

が、様々な企業等々が立地する面積が18ヘクタールとしますと、50ミリで1時間降るので9,000立方メートルと、1万2,844立方メートルということでございますが、あえて素掘りにしておりまして、浸透するように設計されているということで、2時間はもつだろうと。ただし、50年に一度の確率でございますが、2時間で100ミリというと相当な雨ですね。一昨年8月の3日、4日の豪雨では、これ1,000年に一度の確率で降られたんですが、そういったときはなかなか大変ですが、もうここだけの話じゃなくて、全体が大変だと。住民の皆さんから出ている要望などあります。新産業団地を名目にちゃんと整備してくださいということなんですけど、実はそれ以前から今泉、歌丸、河井地区については、災害が頻発していたんですね。議員ご承知かもしれませんが、今泉、歌丸、河井というのは河川がないんですよ、全て水路なんです、素掘りだったんですよ、昔はね。それを約30年前ですか、いや、40年前に国営で圃場整備したんですね。そのときの容量が恐らく合致してなかったんだろうなと思ひまして、昭和の時代から早速、何かあるとすぐ内水被害が出ていたと。それから、さらに287号の南バイパスとか、そうすると、道路ができたから大変な思いしているんだと、我々行政言われていますが、実は土地改良区の所有の施設が課題なんだということを繰り返し申し上げていますが、それを何とか市でしろと、それが市だろうみたいなものですから、土地改良区のほうとはいろいろ協議をして、ただ、なかなか腰が重いと。多分、今、技師もいないし、分かる人間がいないんですね、職員で。そんなことから、過日、山形県の置賜総合支庁長をはじめ、幹部の皆さんとの意見交換の中で市のほうにいらしていただいたときに、相談しましたところ、置賜総合支庁の農村計画課ってあるんですね、そちらのほうと、また協議して、今までも農林課、あるい

は産業参事のほうからいろいろ協議を進めていただいています。なお正式にきちんと土地改良区と県と我々で、三者で相談しながら国の支援などを受けて、総合的にやっていかなきゃいけないと、ただし、その場合の事業者は白河土地改良区だということを住民の皆さんに分かっていただかないと、相当厳しい、みんな目がつり上がっています、それぐらいやっぱり心配なんだと思うんですね。そんなことで考えております。

昨年度まで行いました住民説明会などでも豪雨による降水対策の懸念の声をお聞きしております。産業団地を整備したことにより、洪水被害が拡大したということにならないように、流量を調整する設備としてこの施設を造っておりますので、ご理解いただきたいと思っております。

続きまして、2番目の一部の道路や誘致企業の駐車場など、可能なところを透水性の舗装にすることはできないということご提言でございます。ありがとうございます。

まず、団地区域内の雨水については、排水路を経由して、一旦全てが調整池に流れるようにそのエリアは設計しております。その上で、さらに予備の対応ということのご提言でございますが、産業団地内の道路につきましては、性質上、大型トラック等の通行なども多いと想定されますことから、十分な強度を持たせる必要がございます。透水性のアスファルト舗装は難しいと考えます。透水性ということはいわゆる舗装の目が粗いものですので、ちょっと強度が弱くなるということだと思っております。市が行う開発行為で盛土造成前の田んぼの状況が平地になることで、流量が増加しないように調整池を設置するわけですが、企業敷地内の雨水排水対策としては、施設設備や舗装等で地面を土以外にする場合、面積等によっては地下浸透施設を設けていただく必要があります。その流入量を考慮し

て、透水性舗装を採用することは、企業さんの考え方などによってあるかと思っております。これらにより、団地内からの排水は調整して行われることとなると思っております。

続きまして、3番目、企業誘致により、若い人たちの就業場所の確保が期待されているが、どのように対応するのかというご質問でございます。

事業拡張のために市外から進出いただく企業などであれば、地元採用なども多く見込めるのではと期待しているところでございます。どういった業種によるかということもございしますが、以前より長井商工会議所、あるいは山大的山田先生に座長になっていただき、特に製造業を中心とした業界の代表の皆様、あるいは我々行政関係も含めて、協議の場を設けておりまして、その際に、やはり長井市は製造業あるいは農業等々については非常に盛んでありまして、そこが長井市の基幹産業だと思っております。そういった意味では、そういったものづくりに資するような企業が一番望ましいわけではございますが、やっぱり今、様々な業種での動きが見られますので、なおかつ、新型コロナの蔓延、パンデミックによりまして、改めて日本の製造業、サプライチェーンが脆弱であるということから、経済産業省はじめ、政府でもそういったところの再構築については支援をさせていただいておりますので、昨日も東京のほうのビッグサイトで新産業団地の案内など、よい仕事おこしフェアのほうでも行ってまいりましたけれども、製造業にかかわらず、やはり若い人たちが求めるような職種などもぜひ国や、あるいは金融機関等々と連携し、ご協力いただきながら検討してまいりたいと思っておりますので、議員のほうからもまた何かそういった情報等々ございましたら、ご提供よろしくお願ひしたいと思います。

なお、一定程度の地元採用を行っていただいた立地企業への補助金創設などの支援も現在検

討しているところでございます。

続きまして、4番目の企業誘致による近隣の開発をどのように考えているのかということでございます。

長井南産業団地周辺については、梨郷道路、新潟山形南部連絡道路の梨郷道路が今泉の部分で接続するということが、ルートがはっきりした時点で、都市計画の変更の際にあそこの地域については、いわゆる都市計画の調整区域に組み入れております。したがって、がちがちの農業振興地域ではないんですけれども、来年春から施行される農業振興地域に関する法律の改正がございまして、政府としては今後日本の食料生産を確固たるものにするために、優良農地をしっかりと保全するということが、農振除外をすることはかなり難しい状況になります。ちょっと私も意外だったんですが、それよりも、私どもとすれば、荒廃する農地をどういうふうに保全するのかということがその前に行うべきことなんです。国全体としては農振の除外を厳しくするということが、それを都道府県に管理させて、しっかりと、毎年農振地域の面積が減った場合のペナルティーなども考えているようだとということがこの間の全国市長会の理事評議員会で私も学んだんですけども、そういったことから、なかなかむやみな開発はできないと。ただし、今回の新産業団地のところには隣接してJR米坂線の今泉駅あるいはフラワー長井線の今泉駅がありまして、いわゆる西口、南口ってなりますか、これらについては、小国町、飯豊町のJRのバス代行のより利便性を図る、また、新産業団地内に通勤される方の利便性を図るということから、駅の西口の整備やら、あるいはそれに併せて、あそこの地域は国土交通省都市局の都市再生整備計画事業で調整池とか道路を整備させていただきますので、可能性としては若干、それ以外の隣接した駅までの間のところを整備することは可能かと思っておりますので、

そこはぜひ検討する価値があると思っておりますので、議員からも何かございましたら、ぜひよろしくご指導いただければと思います。

(5)の上下水道配管の適切な計画や道路の計画などを示すべきと考えるがということでございます。

インフラの整備等につきましても、周辺の開発の状況を見ながら計画を、必要な部分を立てるべきものと考えており、現在の時点で、工事がこれからでございますので、これからといっても年度内に行いますが、それを先じた計画を打ち出すよりも、工事の無駄や除雪作業の無駄などをなくすこと等々、また、立地する企業等に合わせた、そういった上下水道配管等のことも検討しなきゃいけないと思いますが、現在のところ、今泉の農集排の部分はもう使わないで、その地域単独で調整池に全て排水するように、その場合は浄化した水を、そういうふうを考えております。

最後は、(6)の現在、長井南産業団地への進出を検討している企業の数や業種などということでございますが、こちらにつきましては、市民の皆様、住民の皆様も、関心があるのは承知しておりますが、これから工事で、分譲は令和8年と考えておりますので、現在のところ、正式な合意ではございませんが、数社の企業からぜひ進出したいということで打診があり、それぞれの企業の代表取締役社長さんとか本社のほうとか出向いたりして、ご挨拶をして、その確認はいただいて、この辺りが欲しいと、どのぐらいの面積が欲しいということは聞いております。結構数社で、半分まではありませんが、18ヘクタールのうち、そうですね、4割ぐらいの希望がございまして、今後もそれらについては分譲できる段階でしっかりと確認をしながら、仮契約した段階じゃないと企業名や、あるいは企業の数なども明確に公表することはできませんので、ご理解いただきたいと思います。

ぜひ企業誘致でもお力添えいただければと思います。

○鈴木富美子議長 赤間茂樹産業参事。

○赤間茂樹産業参事 問2のほうの(1)各種祭りの日程について、近年の気候変動を加味し、ある程度の融通性が必要と考えるがどうかというご質問からお答えいたします。

祭りやイベントの日程及び事業内容等につきましては、委託している長井市観光協会のほうで前の年のうちに次の年の計画を役員会やら理事会あるいは実行委員会などの意見を伺いまして決めるようにしていただいております。

なぜ、このように日程を前の年から早めに決めておくかということについてですけども、これは、まず1つは、市民の皆様からの要望があるということです。このほかに旅行会社や各種業界のほうに早めに情報をお出しすることで、市外、県外からの旅行日程、それから大きな会議などの日程を早めに組んでいただけるようにということで、そういった意味合いで配慮していると、早く決めているということがございます。

日程を固定することによる危険性が大きいのではということもございましたけども、祭り、イベントの日程につきましては、市内のほかの行事を組む関係もありまして、やはり固定してほしいという、そういった声のほうが多いというのが現状でございます。一旦設定した日程を融通を図るということもある程度は可能なかもしれませんが、準備も含めて、あるいは参加する市民の方々の準備もあると思いますので、現状ではちょっと難しいのかなと考えております。

その代わりというわけではないんですけども、あやめまつりのようにある程度長い期間の祭りにつきましては、花の育成状況なども見まして、開園時期、期間などについては変えております。近年ちょっと花の開花時期が短くなっていると

いう傾向もございますので、そこは柔軟に対応していきたいと考えております。

なお、花火大会などについては、せっかく準備したものを無駄にできないものですから、順延とかという対策もさせていただいておりますので、難しいとは言いながらも、今後、観光協会のほうともちょっと融通を利かせるということも念頭に置きながら相談をしてみたいなと思っております。

続きまして、(2)の本市で今後通年で楽しめる観光資源が必要と考えるがというご質問です。

これまでの長井市における観光につきましては、歴史的には花観光が原点でございまして、その後、三十数年前から伝統芸能を生かした黒獅子まつりなどのいわゆるイベント型の観光、それから、最近では長井市の環境資源を生かした長井ダムでのアクティビティ、体験型観光をやまがたアルカディア観光局のほうで展開しております。

通年での誘客という課題につきましては、かなり前からの目標でありまして、23年前に観光ボランティアガイド、ながい黒獅子の里案内人を立ち上げたいきさつについても、まち歩き観光に取り組んで通年の観光を目指したいというのが始まりでございました。

全国で通年の観光の事例を見ますと、温泉地などはそのまま昔から通年観光なんですけど、それ以外のところを見てみますと、例えば朝市を町ぐるみでやっているとか、商店街各店舗の店の前に品物を並べて出すようにしたという町、そういった住民が取り組んでいる事例が結構多く見られます。そのほか、あるまちでは北斎館、名称を出してしまいましたけども、そういった、人が集まるような魅力あるものを建てて、誘客しているというところも通年観光の町になっております。

このことを踏まえまして、長井市を見てみま

すと、やはり最上川流域における重要文化的景観に選定された町並みが既にございますので、これを生かした取組が通年観光につながるものと考えております。長井市では次期都市再生整備計画事業につきましては、十日町エリア、文教の杜周辺のウォークアブルな町並みと面的整備を計画していく予定としております。こういった事業に併せまして、市民の皆様による、例えば空き店舗の活用事業など一緒に入れていけば、十分に通年観光の資源になるのではないかと考えております。

このような方向で進めさせていただきたいと思っておりますので、事業が推進されますよう、ご協力をお願いしたいと思います。

次に、(4)に飛びますが、ここから(10)まで、ホームページ関係のご質問になります。大変申し訳ございませんけれども、(10)のほうからちょっとお答えさせていただきたいと思っております。なぜかという、全体像をつかんだ上で個別のものをお話しさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(10)でございますが、本市の観光情報は1つのウェブサイトから得られるようにすべきと考えるかどうかということでした。

観光振興計画、12年前に策定させていただきましたけれども、その中では観光地域づくりプラットフォームを進めるという方向で検討してまいりました。その中で、観光の窓口の一本化と観光情報の一元化というものを唱えております。それを基に当時、やまがた長井観光局を立ち上げた時点で、観光情報の一元化を目指してきております。現在はやまがたアルカディア観光局を立ち上げていますので、ウェブページ、ウェブ情報につきましては、その骨組みは地域観光情報の一元化を図って、やまがたアルカディア観光局のサイトがまずあって、その下に長井市観光ポータルサイト、これは観光協会が現在は管理していただいておりますけれども、そういう

構造になっております。ほかの町も同列で、やまがたアルカディア観光局のポータルサイトを入り口にした構造で見られるようになっております。このことから、長井市の観光情報、まち情報がまとまっているものは長井市観光ポータルサイトということになります。この観光ポータルサイトは常に更新を行っております、ウェブ検索では長井市観光と検索していただきますと、長井市観光ポータルサイトが多くのサイトで1番目、2番目に来ているという状況です。

また、長井市行政のホームページからは、トップページの中に観光情報のバナーがありまして、そちらをクリックしていただくと、この長井市観光ポータルサイトのほうに移行するようになっております。

お客様にとって、長井市をはじめ、アルカディアエリア、置賜、山形県一体の観光情報がスムーズにこのサイトで連動しておりますので、ご覧いただけるように整備している状況でございます。

なお、検索エンジンの表示順位を上げるための対策といたしましては、コンテンツの内容や更新頻度を高めるなどの、こちら側でできる対策、それから、山形県のホームページでありますやまがたへの旅をはじめとした、長井市のポータルサイトに入ってくる流入の多いサイトからの被リンクを増やすなどの外部的な対策を行うということで、ヒット数が増え、上位に行くということだそうですので、そういう担当の職員もやまがたアルカディア観光局におりますので、そのような対策を努力してまいりたいと思っております。

今のことを踏まえまして、(4)に戻らせていただきますが、(3)で長井町なか散策の検索のお話がありましたけれども、これは後ほど建設課長から説明していただくこととなります。

この中に歩くコースの紹介につきましては、長井市の観光ポータルサイトにやまがたアルカ

ディア観光局と観光協会のほうで監修しているページですけども、各パンフレットの案内のページがあります。そこにまとめて長井街歩きMAPなどを掲載しております。こちらについては、エリアごとのお店情報とか名物、食などの紹介を行っております。このほかに観光名所であったり登録有形文化財などの情報も地図上でご紹介しております。

最近では民間事業者によりまして、ウェブ上で現在地、スマホ上で現在地も分かるマップにお店とか、自動販売機とか、バス停とか、様々な情報が入ったものが開発されております。試験的に8月のミンナガフェスの際に公開しておりますけども、こうした民間サイドの取組も出てきておりますので、期待しているところです。

やまがたアルカディア観光局を運営してきてから、情報の提供につきましては、観光協会やJAN及び市の担当者で協議をして整理をし、改善を図ってきているところです。

ご質問のありました市のホームページで紹介しているものについては、今後、観光ポータルサイトにまとめたほうがよいのか、ちょっと検討させていただきたいなと思います。

続きまして、(5)既に発行されているガイドマップとの整合性がないのではないかとということでございます。

確かにフットパスのルートマップにつきましては、基本的なまちを歩くコースの例を紹介しているだけのものになっております。このほかのまち歩きマップにつきましては、先ほども申し上げましたとおり、お店情報なども入っております。これは単に発行者が違うと、制作している、発表しているところが違うということが原因でございますけども、なお、最新の情報になるように、やまがたアルカディア観光局のほうとも調整を図っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

すみません、ちょっと間違えましたね、さっ

きの、はい。

(6)でございますが、道の駅などで配布されているガイドマップとネットでの情報の整合性はどこが確認しているかというご質問でございます。

こちらにつきましては、川のみなと長井の総合観光案内所で配布している、長井市をはじめ置賜圏内の観光情報やマップについては、長井市観光ポータルサイト上で観光協会ややまがたアルカディア観光局でウェブ上の情報との整合性を取っております。これ以外の市内で発行されている印刷物やウェブ情報につきましては、今後整理の必要があるものも確かにございますので、改善できるように進めてまいりたいと思っております。

(7)検索された方に長井市の魅力を強く感じさせるページの作り方が必要なのではないかとにつきましては、これについては、やはり長井市観光ポータルサイトの役割と考えております。このサイトでは四季に応じて長井情報を更新しております、観光情報だけでなく、市内で開催される催しなどもご紹介しております。これは、このサイトにイベントを開催する団体が直接書き込むことができるといいますか、情報を掲載できるように構築していますので、そのようなものも情報が得られるようになっております。

長井市のほかにはない魅力をどのように表現し、見せていくかは大切なことでありますので、やまがたアルカディア観光局の旅行商品のほか、市民が紹介したい場所、店、そして人などを紹介するページを設けております。

情報の更新は大切な作業でありますので、随時新しい情報を掲載していますが、古いものの整理についても手をかけるように進めてまいりたいと思っております。

続きまして、(8)観光客が求める情報と本市が出している情報にずれはないのかというこ

とでございます。議員からは、既に終了したツアーがトップページのほうに出ているというご指摘もございました。

ホームページの作成者にお伺いしますと、終了したページも少しの間、次年度につなげるためにこういうツアーがあるよというのを示したくて置いているというお話でございましたけども、基本的には終了したツアーは一覧から公開終了するようにしているようです。

なお、最新の情報になるように注意しながら運営のほうをしてみたいと思いますので、よろしくお願いたします。

続きまして、(9)観光客へのアンケート調査を行っているのか、要望や苦情などの対応はというご質問です。

やまがたアルカディア観光局では年間を通して来訪者満足度調査とツアーごとのアンケート調査を行っております。この調査は消費額や発地箇所、どこからいらっしゃったのかという調査、それから、これから、長井市からどこに行くかなどの様々な情報を得るために行っております。その中でご意見、感想もいただいております。このような情報につきましては、次回に生かせるように、関係者と共有し、戦略会議で検討し、改善を図るように生かしているところでございます。

ちなみに令和5年度の来訪者満足度調査では、大変満足42.5%、満足42%で、全体の8割強が満足という回答をいただいております。ツアー参加者アンケートではほぼ100%の方が満足と評価していただいているところでございます。

以上がホームページ関係の関連するご質問でございます。

続きまして、最後に、(11)ボランティアガイドについて、近年担い手不足になっていると聞いているが、ガイドの内容によって金額を見直し、ある程度職業としての金額設定をすべきでないかにつきましてお答えいたします。

観光ボランティアガイド、ながい黒獅子の里案内人の皆様には、長年にわたり、花観光やまち歩き、長井ダム観光などをご案内いただいております。観光客の皆さんからは大変好評で、ガイドさんにお礼の手紙など、たくさんいただいております。まさに、ガイドの皆さんには長井市の顔としてご活躍いただいております。土地に住んでいる方々との触れ合い、語らい、会話というものは重要でありまして、旅行者の皆さんの満足度が高まるものと認識しております。

さて、会員数のお話でございましたが、現在、会員29名、賛助会員12名、会員29名のうち、議員の皆様から2名、職員が3名、元職員が2名入っておりますけども、この体制で現在は行っております。もともとは完全なボランティアで始まりましたが、現在は旅行会社からの依頼のある団体対応やバス乗車などの案内につきましては、ガイド料を頂いております。これがボランティアガイドの会の収入としていただいております。これを元にガイドの皆さんの交通費やガソリン代、昼食代などにつきましては、会の皆様で取り決めていただきました規定によりまして、費用弁償としてお支払いしているという状況でございます。

以前から有償のガイドということについて検討をしてみりました。しかしながら、有償ガイドとして行う場合、やはりガイドの皆さんへの責任、それから、ガイド力という様々な課題が上げられました。このようにハードルが上がった場合に、今のような黒獅子の里案内人が気軽に参加できるという会ではなくなるのではないかというご意見もありまして、先ほど申し上げた費用弁償の対応の状況でございます。

近年では長井市近辺でも有償のガイドというものが出てきております。隣町のカヌークラブさんや、それから山岳観光を専門に行っている方、里山体験など、個人で行っている方もいらっしゃいます。このような専門性の高い分野で

は、それなりの需要というものがあまして、有償案内というものが成り立っております。こちらは必要とされているお客様もいらっしゃいますので、それはそれで進めていただきたいなと考えております。

ながい黒獅子の里案内人の皆様の役割、組織の在り方については、長井市を訪れる方々へのおもてなしの意味合いが非常に強いものでございますので、ガイドのやりがいと継続性を考えて、今後、有償につきましても、会員の皆さんと相談しながら進めてまいりたいと思っております。

○鈴木富美子議長 若月由紀建設課長。

○若月由紀建設課長 私からは、観光振興事業についての（3）長井市町なか散策で検索すると、長井市のホームページのおさんぽコースやまち歩きマップのページが表示されるが、早急に更新すべきではないかという問いにお答えいたします。

議員からご指摘ありました市のホームページのおさんぽコース、白つつじコース、あやめコースというページは、フットパスとフットパス沿いの施設をつないだまち歩きのお勧めのコースを紹介したページでございます。フットパスは歩くことを楽しむための小道ですが、ゆっくりと歩きながら自然や水のある景観など、地域の魅力を発見して感じていただくために、これまでフットパスや案内看板等を整備してまいりました。市役所の移転等に伴いまして、紙のガイドマップは改訂版を作成しておりましたが、ご指摘のとおり、ホームページの更新が滞り、古い情報を公開しておりました。早急に更新作業を進めるとともに、常に最新の情報を伝えられるように引き続き情報の更新に努めてまいります。

なお、現在は市内の各種団体の代表者等から構成されますかわまちづくり推進協議会がフットパスウオークを主催して、フットパスの普及

を図っております。協議会事務局の建設課が関連情報をホームページに掲載しているという状況でございます。

同じく事務局であります観光文化交流課、地域づくり推進課とも、先ほど産業参事の答弁にもありましたが、観光情報の整合性ですとか共有を図りながら、よりよい情報の提供をしてまいりたいと思っております。

○鈴木富美子議長 9番、内谷邦彦議員。

○9番 内谷邦彦議員 それぞれお答えいただきました。

まず、長井南産業団地に関しましては、市民の方々にとって非常に重要な事業であり、これからの長井市の発展に非常に寄与する事業だと思っておりますので、これからも最大限の努力をよろしくお願ひしたいと思いますし、私もできる限り動きたいと考えております。

あと、観光振興に関しまして、やまがたアルカディア観光局自体が各市のものをやってらっしゃるわけですね。そうすると、長井市を優先的にやるということはまず難しいと思います。だから、長井まち歩きページでガイドマップがあるんでしょうけど、そこに一発で行けるようなものってないんでしょうか。

○鈴木富美子議長 赤間茂樹産業参事。

○赤間茂樹産業参事 検索の仕方によりますけども、一番いいのは一発で行けるということだと思います。そのほかに、ちょっとこれから少し整理は必要なんですけども、観光ポータルサイトの中にまち歩きガイドマップというものがございます。それは携帯で位置情報も分かるものがあるんですけども、それらについても、1回で行けるかということ、現状行けない状態なので、その辺の見直しというものはちょっと検討すべきかなとは思っております。

○鈴木富美子議長 9番、内谷邦彦議員。

○9番 内谷邦彦議員 あと、そのガイドマップなんですけど、印刷物をPDFで単に載せてい

るというやつじゃないですよ。

○鈴木富美子議長 赤間茂樹産業参事。

○赤間茂樹産業参事 ガイドマップについては、印刷物もありますし、その内容をウェブ上で見られるというものもあります。印刷物と、紙のマップとウェブ上で画面で見られるマップ、そのほかに位置情報を共有して歩きながら使えるマップというのがありまして、主にその3つになっております。PDFと言われればPDFに近いものがウェブ上のマップにもございます。

○鈴木富美子議長 9番、内谷邦彦議員。

○9番 内谷邦彦議員 要するに観光客の方が来られて、来られるというか、検索をされて、そこで魅力を感じるページにしてほしいんです。だから、単にまち歩きのパージがちっちゃく、要するに細かくこちゃこちゃこちゃと書いてあるものなのか、それとも魅力的な部分をトータルのまとめで書いて、こういうふうなものがありますと、詳細のマップに関しては、来ていただいてこの場所に置いてありますので、ぜひこちらをご覧になってまち歩きをしてくださいという案内をしているのか、ただ単にこういうまち歩きですという案内をしているのか、その辺が知りたいんです。

○鈴木富美子議長 赤間茂樹産業参事。

○赤間茂樹産業参事 お客様によりまして、その用途、嗜好、どこに行きたいか、何を食べたいかというのは違ってきますので、そういった面ではおいしさ発見の旅というようなマップ、それも食専門のマップ、それから、エリアごとに何があるかというものを示したマップ、これはもちろんお店情報もありますけども、観音様がここにあるよとか、そういった情報など。それから、先ほど申しましたように、ウェブ上のスマホで持ちながら歩くマップについては、これは様々な情報が入っております。ということで、ちょっと求める情報によって、どれを使うかというのが異なってきますので、一概にこれを見

てくださいというのは少し難しいところはあるんですけども、一応それらをそろえたページというのが長井市観光ポータルサイトのほうにはございます。今のところはそういう整備しております。

○鈴木富美子議長 9番、内谷邦彦議員。

○9番 内谷邦彦議員 ぜひ魅力的な長井市に見えるようなページを作っていただいて、やっぱり少しでも観光客が来られますと、商業施設も潤うことにもなりますので、ぜひ頑張ってくださいと思いますので、よろしく願いいたします。以上で私の質問は終わります。

渡部秀樹議員の質問

○鈴木富美子議長 次に、順位4番、議席番号10番、渡部秀樹議員。

(10番渡部秀樹議員登壇)

○10番 渡部秀樹議員 お疲れさまでございます。21爽風会の渡部秀樹です。よろしくお願いいたします。

それでは、通告に従って質問させていただきます。このたびの質問は大きく2項目ありますので、順次お答えいただきますよう、よろしくお願いいたします。

1項目めは、持続可能で魅力あるまちづくりについてお聞きいたします。第六次総合計画の将来像を「みんながしあわせに暮らせる長井〜ずっと笑顔あふれるまち〜」と定め、市政運営に取り組む本市のまちづくりなどについてお聞きいたします。

1点目は、安心して健やかに暮らせ、住みやすく住み続けたいまちづくりについてお聞きいたします。

最初に、災害時の避難行動等に係る啓発活動の強化について、提案させていただきます。こ